

【基調講演】

工藤祥子（くどう・さちこ）

全国過労死を考える家族の会公務災害担当／

神奈川県過労死等を考える家族の会代表



全国過労死を考える家族の会公務災害担当、神奈川県過労死等を考える家族の会代表。2007年、教員の夫を亡くし、5年以上の時間をかけ公務災害の認定を得る。教員の働き方改革を過労死防止の観点からとりくむ。

【ファシリテーター】

樋口修資（ひぐち・のぶもと）

明星大学教授



明星大学教育学部長。大学卒業後、1976年に文部省（現文部科学省）に入省、大臣官房審議官、スポーツ・青少年局長などを歴任。2009年より明星大学教授。東京学芸大学客員教授も務める。

【パネリスト】

森 孝之（もり・たかゆき）

文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課長



文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課長。1990年に文部省（現文部科学省）に入省。医学教育課長等を歴任し、2018年1月より現職。文部科学省

における学校における働き方改革の全体総括を担当。

【パネリスト】

内田 良（うちだ・りょう）

名古屋大学准教授



名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授。組み体操や柔道を含むスポーツ事故、いじめや不登校の教育課題、部活動顧問の負担など、学校現場にあるリスクや理不尽なことについて社会学の観点から問題提起する。

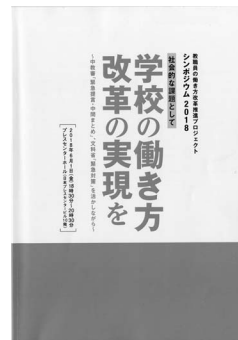
【パネリスト】

馳 浩（はせひろし）

衆議院議員／元文部科学大臣



衆議院議員。1995年参議院議員選挙で初当選。2015年、文部科学大臣・教育再生担当大臣に就任。高校教員免許（国語科・書道科）を所持し、母校星稜高校で国語科教員としての勤務経験もある。



内田良さんは県教研（11/9～11/10）の講演会の講師にお呼びする予定です。

知っていますか？ 『障害のある教職員ネットワーク』

日教組では、障害のある教職員の雇用の拡大と合理的配慮の実現に向け「障害のある教職員ネットワーク（障教ネット）」を組織しています。

仕事上の悩みごとがあったら、一人で抱え込まず、障害当事者が互いの状況を知り合い、つながりを深めていきませんか。障害のある教職員が働きやすい職場は誰もが働きやすい職場になります。

一緒に、働きやすい職場にしていきましょう!!

○登録対象者○

- ・ 障害者手帳を取得している教職員
- ・ 障害者手帳を取得していないが、難病等機能障害があり、日常生活に相当の制限を受ける状態にある教職員

加入を希望する方、詳細を確認したい方は高教組本部までご連絡ください。

担当：組織部（小野寺健・藤原圭吾）